



校長だより(職員編)

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠

この2学期、やり切りたいにと①

阿賀っ子全員、見守りの方に「おはようございます。いつもありがとうございます。」が言えるようにする。(達成率90%以上)

<なぜ?>

「感謝の気持ちをもてること」「感謝の気持ちを表せること」がすべてのことに通じるから。すべての行動の土台だから。すべての行動のエネルギーになるから。

<他にも「感謝」を育てる方法はあるのでは?>

それはあるでしょう。でも、これって、分かりやすいじゃないですか。

ちなみに、このことのこだわりは次の3点です。

- (1) 阿賀っ子全員で、同じことをやり切る。
- (2) 学校外でできるようになることに取り組む。
- (3) 一点突破が波及効果を生む。

<校内での挨拶ができるようになることが先なのでは?>

「校内でできるようになってから」という考え方もあるでしょう。

しかし、「今、もっていてほしい心」なんです、「感謝の心」って。「待ったなし。」なんです。身に付けさせようとしているのは、「礼儀正しさ」以上のこと。「内からにじみ出る感謝の心」。

<学校外での取組となると評価が難しい?>

それはそうでしょう。そこを何とか「生徒指導部」を中心に知恵を振り絞って欲しいですね。取組のヒントとしては、次のようなことが考えられるのではないのでしょうか?

- (1) まずは、これが言えるようになることにどんな意味があるのかを子どもたちに伝える。
- (2) 「おはようございます いつもありがとうございます」キャンペーンをはる。
期間中、次のようなことをしてもよいのでは。
 - 「おはようございます いつもありがとうございます」隊が、二宮金次郎像の辺りから、よくできている学年をチェックする。よくできている様子をタブレットで撮影し、給食時間に各教室にリモート配信する。
 - 「おはようございます いつもありがとうございます」ふりかえりカードを準備しておき、朝の会等で自己評価をさせる。キャンペーン初日と終日の自己の変化を振り返り感想を書かせる。書いた感想を校内放送で紹介する。
- (3) キャンペーンの有無に寄らず、朝の会や帰りの会で定期的に振り返らせる時間を確保し続ける。担任は、達成状況の変化を定期的に把握し、働きかけを続ける。